

都市計画道路 中央通り線（県道袋陣屋線～神明通り）の概要

事業概要

都市計画道路中央通り線は、都心環状線の一翼を担うとともに、国道16号および国道4号と都心部を連絡する幹線道路である。

当該区間の整備より、機能的な道路のネットワークを形成し、都心部へのアクセス性の向上、都市内交通の円滑化、回遊性の向上が図られ、中心市街地へ集中する交通の分散等により交通渋滞の緩和が期待できる。あわせて、無電柱化（電線共同溝）を実施することで、都市景観および防災安全性の向上が図られるとともに、市街地の活性化に寄与することが期待される。

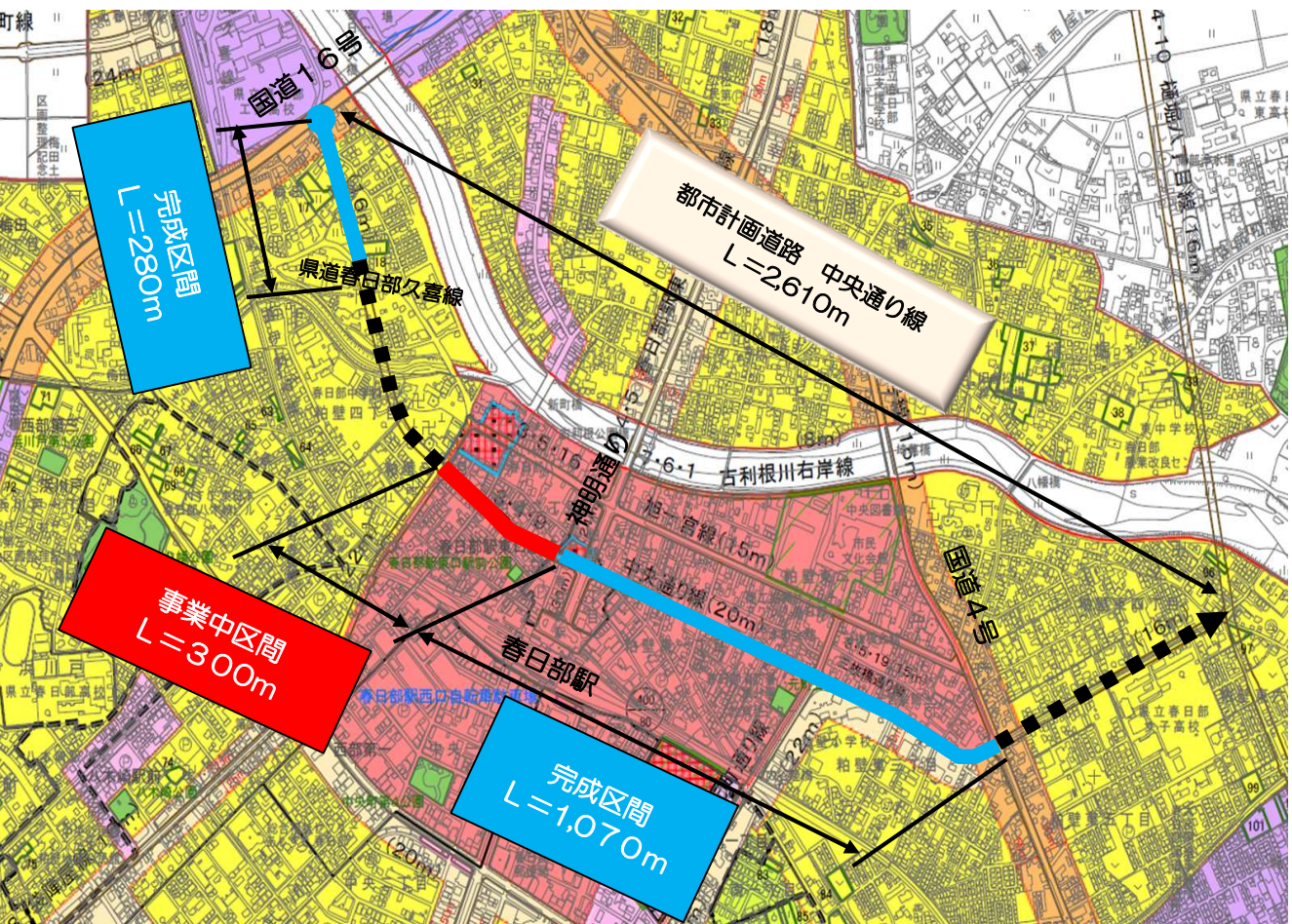
現在、春日部駅東口の市道5-87号線（神明通り）から国道4号までの延長約1,070mの整備が完了し、令和7年度から県道袋陣屋線～市道5-87号線（神明通り）までの延長約300mの道路工事を実施するものである。

路線名称：都市計画道路3・4・9中央通り線
都市計画決定：昭和39年3月17日（全体）

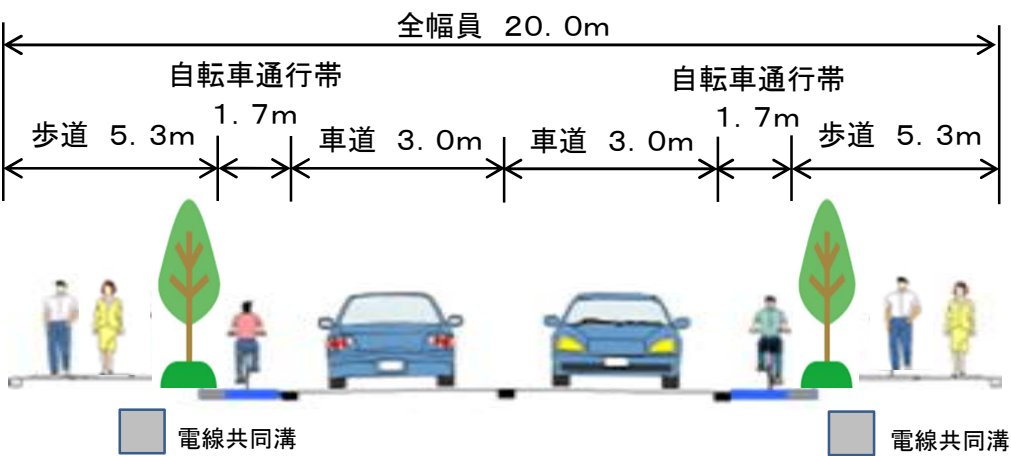
《県道袋陣屋線～市道5-87号線（神明通り）の区間について》

事業認可取得：平成28年4月1日
事業地：春日部市粕壁二丁目地内外1
延長：約300m
幅員：標準幅員 20m

位置図



標準断面図



今後の予定

- 令和7年度 工事施工箇所：延長約80m
 - 令和8年度以降 工事施工箇所：延長約200m
 - 工事内容 道路拡幅工事、電線共同溝工事
各占用業者引込工事（東京電力、NTT等）・上水道・下水道・ガス
舗装工事、歩道工事
- ※工事の進捗により工程が前後する可能性があります。

